

第 238 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

期 日 2011 年 4 月 22 日 (金) 13:00~17:50

会 場 (株)島津製作所東京支社 [東京都千代田区神田錦町 1-3、電話:03-3219-5609 交通:JR 神田駅より徒歩 10 分、地下鉄新御茶ノ水駅・淡路町液・小川町駅 B7 出口より徒歩 6 分]

講演趣旨 超高速液体クロマトグラフィー (UHPLC) は、高い分離性能、短時間・高効率分析の実現、溶媒使用量の削減など様々な効果が期待でき、現在使用中のコンベンショナル HPLC を使用した測定を改善できる可能性があります。本例会では、現状の UHPLC の最前線では、どのような測定が実際に行われ、どれぐらいのことが実現できるか!などの例を紹介し、ディスカッションしたいと企画しました。

講演主題 「ここまでできる! 超高速液体クロマトグラフィーの現状」

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:05)

(日本分光(株)) 坊之下 雅夫

1. 超高性能液体クロマトグラフィーのためのカラム技術 (13:05~13:45)

(日本ウォーターズ(株)) 佐々木俊哉

2. UHPLC のための検出技術(13:45~14:25)

(日本ダイオネクス(株)) 大河原正光

3. UHPLC を活用したトータルスループットの向上 (14:25~15:05)

(株)島津製作所) 田中健一朗

休憩 (15:05~15:20)

4. UHPLC による高速・高分離分析を上手に行うためのコツ (15:20~16:00)

(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹

5. UHPLC における高速分析と高分離分析の検討およびアプリケーションの紹介

(16:00~16:40) (株)日立ハイテクノロジーズ) 伊藤正人

6. UHPLC を用いた高圧切換バルブ付自動前処理システムによる迅速測定の紹介

(16:40~17:20)

(日本分光(株)) 坊之下雅夫

7. UHPLC の現状と将来 (17:20~17:50)

(東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費 LC 研究懇談会会員:1,000 円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000 円、その他:4,000 円、学生:500 円(参加費は当日申し受けます)

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで開催します。(会費 3,000 円)

希望者は必ず前もってお申込みください(参加費は、当日申し受けます)

申込方法 参加希望者は、同封の参加申込書にご記入の上 FAX または、同内容を E メールにより、お申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください。(定員締切後の申込につきましては、後日連絡いたします。)

申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田ハイツ 304 号
社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351, FAX:03-3490-3572, E-Mail: hm_tanaka@jsac.or.jp]